

会報

◇奈良大学史学会総会

五月二十四日（火）、本学において、第二三回奈良大学史学会総会が行なわれた。二〇〇四年度の決算・会計監査報告および事業報告が行われ、ついで二〇〇五年度の役員人事案・事業計画案とそれにとりまなう予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認された。

二〇〇五年度の役員は以下のとおり。

▽会長

青木 芳夫

▽副会長

森田 憲司

▽教員委員

（編集）

河内 将芳

（会計）

足立 広明

（庶務・交換）

森田 憲司

（監査）

鎌田 道隆

明石 岩雄

▽学生委員

（代表）

谷村 智哉

（副代表）

鈴木 裕美

（総務・広報局長）

會田 朋子

（青垣祭企画実行局長）

福本 真衣

（四回生委員）

石谷林太郎 塩田 篤司 白井巳古都

鷹野 義朗

丹所 宏介 富田 直美 宮本真理子

山里 慎一

鈴木 禎匡

（三回生委員）

東 裕希 石野 裕也 大倉 俊美

川崎 恵美

田中 美穂 西谷 春佳 間島多佳子

宮崎 琢也

（二回生委員）

田中孝太郎 中村 裕明 日比野希由

松石 佳彦

増田 真吾

（一回生委員）

岡田 侑子 岡部 愛 佐藤 詩織

静屋沙代子

中澤由香里 福井 涼子 宮谷 征則

村井 侑加

森田 隆寛

◇特別講義

五月二十四日（火）、史学会総会にひきつづき、特別講義が行われた。講師・演題は以下のとおり。

村田 修三氏（大阪大学名誉教授）

「城からみた戦国日本」

七月四日(月) 特別講義が行われた。講師・演題は以下のとおり。

宮澤 知之(仏教大学教授)

「中国古代の貨幣の統一—半量錢と五銖錢—」

◇青垣祭

昨年度にひきつづき、青垣祭(学園祭)に出展した。本年度は「お風呂物語2005」のテーマで展示発表を行った。会場では昭和期の銭湯を再現し世界の入浴文化をパネル・模型で紹介したうえ、世界の風呂を比較し、風呂の歴史と未来を考察した。

「風呂」というユニークな展示に、十一月六日(日)から十一月八日(火)の三日間でのべ五百人の来場者が訪れた。

また、青垣大賞(学園祭において優秀な団体に贈られる)の編集企画部門で第一位という快挙をなすとげ、各方面から高い評価を受けた。

ご協力いただいた方々には深くお礼を申し上げる次第である。

◇体験ツアー

毎年恒例となった体験ツアーは、六月十二日(日)、二回生委員が中心に企画した「薫風七条を巡る体験ツアー」を行い、好評であった。

ついで、十一月二十七日(日)には、二回生委員を中心に「秋薫る長谷寺へ」を企画した。

◇「史学会会報」等の発行

奈良大学史学会の活動の普及を目的として、「史学会会報」を二ヶ月に一回発行し、史学会の企画案内、各地の史跡や祭事等を掲載した。本年度は史学会総会において、「史学会会報」のあり方について指摘があったことから、内容の一部を変更した。

また、本年度も一回生を対象に来年度以降の講読・ゼミを決定するうえでの参考資料として、各ゼミに所属する学生の執筆による「講読紹介」を発行した。

◇会員動向

○足立広明氏は、四月に着任された。学部において西洋古代中世史関係の講義・講読・演習を担当される。

○河内将芳氏は、四月に着任された。学部において日本中世史関係の講義・講読・演習を担当される。

平成十六年度史学科卒業論文題目

【日本史】

「額田寺伽藍並条里図」に関する一考察

奥山 大石

—記号分類と結界表現を中心として—

清和源氏発祥の地摂津国多田について

太田 悠介

—源満仲を中心に考察する—

季祿小考

片桐 洋平

日本古代における道と駅制について

門田 侑也

—古代伊賀国の官道の変遷を中心に—

藤原仲麻呂に関する一考察

金子 高志

—仲麻呂と仏教との関係より迫る—

古代駅制の一考察

菊地 孝洋

律令国家の隼人支配について

小泉真知子

光明皇太后と紫微中台について

駿河恵三子

道饗祭に関する一考察

津田 恭子

聖武天皇の彷徨五年について

野田 泰史

—恭仁京遷都に関する考察—

孝謙（称徳）天皇の皇統意識について

野村 華連

—瀧浪貞子批判—

行基をめぐる諸問題

林 三起

江戸時代における飛鳥の官跡の研究について

本多 利紀

古代の鹿について

正田 容子

内匠寮についての一考察

益田 知実

—その構成と性格を中心に—

古代祥瑞についての一考察

松西 征祐

香椎宮についての諸問題

光安 直子

—創建期とその背景—

采女貢進制について

矢野口さおり

—大同と弘仁の采女制改廃を中心として—

日本古代における学制の研究

山口 飛

—奈良時代から平安時代初期における文学・

史学教育の変遷に関する一考察—

宝亀の唐使についての一考察

山本 ゆう

—古代日本の対唐国観を考える—

日本古代の内膳司について

山田真由美

—高橋・安曇二氏の関係を中心として—

☆ ☆ ☆

中世寺院の民衆統合と親鸞の宗教世界

雨森 一佐

—郷民と祭礼の關係に関する考察—

中世中期から後期の奈良

池内 孝行

筒井順慶について

乾 憲二

類聚名義抄とその背景

蒲原 雄姿

—辞書編纂と日本中世の形成の一考察—

戦国期の播磨の動向について

記村 公輔

—別所氏と三木合戦を中心に—

中世瀬戸内海の流通

小林 俊明

—備後・芸予諸島の特殊性と地域内ルート—

四条隆資について

近藤 篤司

—後醍醐天皇側近の人生—

境界としての坂

後藤 磨美

—奈良坂・清水坂を中心に—

中世鹿兒島における豪族税所氏について

税所 奉子

織田信長の政治の特徴について

阪口 伸宏

婆娑羅について

坂本 晃彦

—平安京内における葬送、主に死体遺棄を中心として—

武田信玄の甲斐国内統治について

末吉 章浩

戦国期における伊達氏について

玉野 将史

—天正十八年の小田原参陣について—

中世大和国における真宗門徒の動向

西田 明美

—寺内町今井について—

中世南北朝期における畿内について

三方 敏之

「富国存念書」に見る藩政改革の思想と実態

岡崎 綾

—楠木正成を中心として—

石見銀山について

三代 修平

近世中期以降の離縁から見える社会構造

片桐 智子

—銀産出高の推移から見る争奪戦の影響—

中世村落の様相について

宮川 昌子

近世中期の商家経営とその理念

北井瑠美子

—円覚寺領尾張国富田庄を中心に—

中世後期の興福寺

向江 健治

戦国期毛利家における戦功の認定と恩賞の給付について

北川久仁枝

—大乘院寺社雑事記にみる学侶の活動—

撰関期における貴族女性

森廣 貴士

江戸時代前期の風俗統制と町人生活の展開

境 麻衣子

—一条朝頃の中下級貴族女性たちの婚姻—

中世期における天皇の移御について

山内 紀枝

鳥を活かし、鳥と共に暮らす

佐野 尚子

—「内裏」の行方を中心に—

前田利家について

葭原 友一

—江戸時代の人々と自然との関わりについて—

清水 意泰

—織豊期を生き抜いた利家の人物像を見る—

☆ ☆ ☆

近世博多祇園山笠の祭礼と市民生活

葦津 元彦

家業存続のための商人の心構え

杉森 将吾

箱根関所の役割とその意義

安東 靖洋

江戸時代前期將軍・大名をめぐる殉死とその思想について

田中 温子

近世大坂蔵屋敷の機能と景観

生田 綾子

近世における大名茶道の展開とその意義

外川 喜一

相模からみた江戸庶民の娯楽

大村 綾乃

—小堀遠州を中心に見る大名茶道—

中中原 梓

近世中期加賀藩十村役人の実態考察

大屋孝二郎

喜多見国三郎の『伊勢参官覚』からみる

近世後期の旅の実態とその意義

江戸の出版文化における妖怪と民衆

仲道 智早

近世中期における貨幣改鑄政策とその影響

中山 聡

近世中期の鴻池新田の開発における諸問題

原田 知宏

服忌令から見る近世の穢れ観について

日高 綾

池田光政の岡山藩政と閑谷学校

松尾 圭輔

伊勢参り・おかげまいるの道中からみた
民衆の施行・接待について

横田 聡子

☆ ☆ ☆

島根県における米騒動の展開について

青木 光穂

山田顕義についての一考察

岡本 奈緒

—法典編纂を中心に—

近代日本貿易の史的展開

奥村 亮介

明治初頭における近代教育

長 浩史

—兵庫県川辺郡民の反応を追う—

沖繩独立論について

小原 秀太

—なぜ独立論は消え、現代も発展しないのか—

三池炭鉱の発展とその弊害

金澤 隆信

日独伊三国同盟における日本の有意義性

鎌田 悟史

—松岡洋右の考えを通して—

大久保外交における研究の再評価について

喜津木夏子

製糖企業の経済的「南方進出」

草加 充博

天理教についての一考察

上代 愛子

—中山みきの思想—

日露戦争後における生駒の動向

田中 純平

—北生駒村を中心としての考察—

不平等条約の内容と条約改正交渉

谷野 純一

幕長戦争の時の諸藩の動きについて

西坂 幸子

戦時下における奈良市民の動向

野村 浩司

天誅組の大和義挙

橋本 祐樹

植民地期朝鮮における宗教政策

藤田 良徳

近現代における奈良の経済

森本 健一

☆ ☆ ☆

【東洋史】

アヘン戦争の内的要因としての官僚腐敗について

広瀬 茜

—広東官僚と洋行を中心に—

文化大革命期における林彪と権力闘争

藤岡 信介

十九世紀末における李氏朝鮮と中国の關係について

水谷 洋子

漢の西域経営と楼蘭

宮川 拓也

宗廟制から見た春秋時代の氏族制的秩序

吉川 佑資

☆ ☆ ☆

秦始皇帝の支配体制

花田 央

春秋時代の氏族について

阿部健太郎

— 統一前の秦からの郡県制の推移を中心に —

宋代の地域社会における治安維持制度

石塚 健司

☆ ☆ ☆

— 宋代の弓箭手の制度とその実態及び意義 —

唐代の塩商について

大本真梨子

【西洋史】
バルミラ女王ゼノビアとその時代について

荻野 珠奈

中国中世前期における兵戸について

川島 紀子

クセニア慣行についての一考察

川崎いつか

隋の文帝とその時代

木下 知沙

— プロクセニア制度との関連において —

イスラム以前の南アラビア諸王国について

川辺公美子

— 仏教政策を中心に —

小林 大祥

— 一時代を築いたシバ王国を中心に —

— 五斗米道の発生と教団政権について —

佐野 真理

古代エジプト人の来世観

桑木健太郎

近代中国の女性解放運動

高橋周一郎

カルタゴの建国伝説について

小島 由佳

— 太平天国について —

竹田 有里

古代ギリシアにおける同性愛について

小林 礼奈

「使琉球録」と尚真王朝の琉球王国

高橋周一郎

新王国時代の神官と王権

武内 里美

均田制について

田中 郁美

— 第18王朝のファラオと神官の確執 —

— 北魏を中心に —

田中 郁美

古代マケドニアの官職

田中 京

漢民族の喪礼について

田中 郁美

古代エジプトの女王について

田中 千香

— 「文公家礼」と現代中国喪葬儀礼の比較 —

土居 裕司

— 歴史から抹殺された男装の女王ハトシエプスト —

宋代の黄河治水について

土居 裕司

古代と現代の「ケルト人」

富吉 沙与

— 慶曆、神宗期を中心に —

西村 壘

— その存在と定義について —

中国古代の都市の発展と攻城法の変化について

西村 壘

古典期アテナイの祭儀における女性

中岡 綾子

古代エジプトの女性について

永井 智美

シチリア王国の成立と発展

原 佐織

—結婚と財産所有から見た女性の立場—

プロイセン王国の成立と発展

細川亜弥子

ガリア遠征の歴史的背景

西本 貴胤

ゴシック教会建築の成立と発展

柘野 大輔

紀元前5世紀におけるアテナイ海軍力の推移

羽原 潔

—大聖堂に森をみる—

宮阪 浩子

古代ローマの剣闘士について

林 伯拳

—スバルタクスの蜂起を中心に—

山賀智佳子

古代ローマ奴隷制の社会的機能について

藤井 健太

17・18世紀におけるフランスの音楽と人・もの・社会

山賀智佳子

—ローマ法と家族の中の奴隷—

☆ ☆ ☆

古代ギリシヤにおける神話と社会

松井 勇治

世界自然遺産の在り方

榎本 真衣

パックス・ローマーナと皇帝政治

八木 良太

アメリカの宗教

大八木康裕

エレウシスの祭儀

山 友香

チャーチルについて

尾澤 直樹

—古典期のアテナイ社会と祭儀の関連について—

ヒトラーと国防軍

加納 達也

☆ ☆ ☆

西欧中世における農業革命について

泉 彰恵

イスラームと「近代化」

河野 祥治

西欧中世における刑罰について

内 貴之

ナチス・ドイツの「安楽死」政策

清水 勇樹

西欧紋章から見た「騎士」の形成

木下ちひろ

オスマン・トルコの終焉

種田 孝義

大航海時代のポルトガルにおける歴史的展開

小林 兄

米子電車軌道の歴史

筒井 裕貴

西欧中世における騎士階級の成立と発展

遠山八重子

世界遺産「ヴァイキング」への考察

中内 躍人

ポーランドにおけるチュートン騎士団の影響

新田 雅俊

アメリカの対日政策

中川 慎祐

ハプスブルク朝スペインの宗教問題について

野町 啓史

—満州事変勃発から太平洋戦争終結まで—

世界遺産「モン・サン・ミシエルとその湾」

長谷川智美

—大天使ミカエル信仰の軌跡—

ホロコーストに関する一考察

松本 恵子

ドイツ統一史

森 吉康

スコットとアムンゼン

山田 寛之

—南極点到達競争の探検史における位置について—

アメリカのユダヤ人

山元 雄高

平成十六年度大学院修士論文（史学関係）

「隋書」における流求国について

亀川 彰子

古代陸奥国の官人体制について

紺野 勇

—辺要国の国司について—

日本古代の喪葬儀礼に関する一考察

三上真由子

—奈良時代における天皇の殯期間の短期化について—

十六世紀中期における備後の在地領主と

竹岡 健次

大名勢力との相互関係について

—山内首藤氏を主題として—

永正の錯乱以降における本庶関係

西原 正洋

戦国期赤松氏権力と被官層の活動形態

野間 克久

近世大和のおかけ参りとおかけ踊りについて

井上 有貴

山田方谷における誠の観念と理想の社会像

川崎 貴志

万国博覧会における日本館の変遷について

小林 俊晃

明末清初期蔵書家の活動と出版

佐長 俊和

中学校地理教科書における台湾の扱いについて

中村 祐介

漢代における軍隊の運営について

山縣 奉史

—補給体制から見た軍の運営—

受贈雑誌及び図書〔自二〇〇四年十一月
至二〇〇五年 十月〕

号

愛大史学（愛知大学文学部史学科） 第一四号

愛知大学総合郷土研究所紀要（愛知大学総合郷土研究所）

第五〇号

愛知大学文学論叢（愛知大学文学会） 第一三二号

青山史学（青山学院大学文学部史学研究室） 第二三三号

アカデミア 人文・社会科学編（南山大学） 第八〇号

アジア研究所紀要（亜細亜大学アジア研究所） 第三一〇号

アジアフォーラム（大阪経済法科大学アジア研究所） 第二九号

二九号

アジア文化学科年報（追手門学院大学文学部アジア文化学

会） 第七号

アジア文化史研究（東北学院大学大学院文学研究科アジア

文化史専攻） 第五号

AZUR（成城大学フランス語フランス文化研究会） 第

六号

エウローパー（成城大学大学院文学研究科ヨーロッパ文化

専攻） 第一四号

大分県立歴史博物館研究紀要（大分県立歴史博物館） 第六

「中国都市研究の史料と方法」〔大阪市立大学大学院文学研

究科二一世紀COEプログラム〕「都市文化創造のための

人文科学的研究」大阪市立大学重点研究「都市文化創造

のための比較史的研究」〔大阪市立大学大学院文学研究

科都市文化研究センター）

鴨台史学（大正大学史学会） 第五号

大谷大学史学論究（大谷大学文学部史学科） 第九一―一〇号

お茶の水史学（お茶の水女子大学文教育学部人文科学比較

歴史学コース内読史会） 第四八号

大津市歴史博物館研究紀要（大津市歴史博物館） 第一一

鷹陵史学（鷹陵史学会） 第三一〇号

海南史学（高知海南史学会） 第四三三号

学習院大学史料館紀要 第一三三号

漢学研究通訊（漢学研究センター） 第二四卷第一、二期

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要 史学編 第四号

京都市歴史資料館紀要 第二一〇号

京都歴史災害研究（京都歴史災害研究会） 第三号

キリスト教史学（キリスト教史学会） 第五九号

神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会） 第二一〇号

国際日本学（文部科学省二一世紀COEプログラム採択）

第六号

日本発信の国際日本学の構築研究成果報告集（法政大学

人文論集（静岡大学人文学部） 第五五卷第二号、第五六

国際日本学研究所） 第二号

卷一号

国際日本学研究所（国際日本学研究所紀要）（法政大学国際

住友史料館報（住友史料館） 第三六号

日本学研究所） 第一号

西洋古代史研究（京都大学大学院文学研究科） 第五号

国史研究（弘前大学国史研究会） 第一一八、一一九号

西洋史学報（広島西洋史学研究会） 第三二号

史苑（立教大学史学会） 第六五卷第二号

西洋史論集（北海道大学大学院文学研究科西洋史研究室）

史園（園田学園女子大学歴史民俗学会） 第五号

第八号

史学（三田史学会） 第七三卷第四号、七四卷第一、二号

専修史学（専修大学歴史学会） 第三八号

史学研究集録（国学院大学大学院日本史学専攻大学院会）

創価大学人文論集（創価大学人文学会） 第一七号

第三〇号

双文（群馬県立文書館） 第二二号

史観（早稲田大学史学会） 第一五二、一五三号

高円史学（高円史学会） 第二二号

史聚（史聚会） 第三六、三七号

橘史学（京都橘女子大学歴史文化学会） 第一九号

史泉（関西大学史学・地理学会） 第一〇二号

地域研究いたみ（伊丹市立博物館） 第三四号

史窗（京都女子大学史学会） 第六二号

近松研究紀要（園田学園女子大学近松研究所） 第一五号

四天王寺国際仏教大学紀要

千葉史学（千葉歴史学会） 第四六号

社会科学研究所（中京大学社会科学研究所） 第二五卷第二号

中央史学（中央史学会） 第二八号

史友（青山学院大学史学会） 第三七号

敦賀論叢（敦賀短期大学） 第一九号

資料館紀要（京都府立総合資料館） 第三三三号

帝京国際文化（帝京大学文学部国際文化学科） 第一八号

人文科学研究科紀要（帝塚山大学大学院人文科学研究科）

帝京史学（帝京大学文学部史学科） 第二〇号

東海史学（東海大学史学会） 第三九号

東京大学日本史学研究室紀要（東京大学大学院人文社会系

研究科・文学部日本史学研究室） 第九号

東北文化研究所紀要（東北学院大学東北文化研究所） 第三

六号

東洋史苑（龍谷大学東洋史学研究会） 第六四、六五号

東洋史学論集（立教大学大学院文学研究科史学専攻東洋史）

第五号

東洋史訪（兵庫教育大学東洋史研究会） 第一一号

東洋史論叢（大阪市立大学東洋史研究会） 第一四号

東洋大学文学部紀要 史学科篇（東洋大学文学部史学科研

究室） 第五八号

徳川林政史研究所研究紀要（徳川黎明会） 第三九号

富山県立山博物館研究紀要 第一二号

長野県立歴史館研究紀要（長野県立歴史館） 第一一号

七隈史学（七隈史学会） 第六号

寧楽史苑（奈良女子大学史学会） 第五〇号

奈良大地理（奈良大学地理学会） 第一一号

奈良歴史研究（奈良歴史研究会） 第六三、六四号

鳴門史学（鳴門史学会） 第一八号

新潟史学（新潟史学会） 第五三号

日本研究（国際日本文化研究センター） 第二九、三〇集

日本史学研究室紀要（金沢大学文学部史学科日本史学研究

室） 第一号

日本モンゴル学会紀要（日本モンゴル学会） 第三五号

日本歴史学協会年報 第二〇号

年報中世史研究（中世史研究会） 第三〇号

パブリック・ヒストリー（大阪大学西洋史学会） 第二号

東アジア研究（大阪経済法科大学アジア研究所） 第四一、

四二号

兵庫のしおり（兵庫県政資料館） 第七号

福岡教育大学紀要（福岡教育大学） 第五四号

仏教大学総合研究所紀要（仏教大学総合研究所） 第一二号

文学部論集（仏教大学文学部） 第八九号

文化情報学科記念論集（甲子園短期大学文化情報学科）

法政史学（法政大学史学会） 第六三号

法政大学国際日本学研究所国際日本学研究センター年報（法

政大学国際日本学研究センター）

北陸史学（北陸史学会） 第五二号

御影史学論集（御影史学研究会） 第三〇号

三井文庫論叢 第三八号

民具マンスリー(神奈川県日本常民文化研究所) 第三

七卷一二号、第三八卷一—六号

明大アジア史論集(明治大学東洋史談話会) 第一〇号

山口県史研究(山口県史編さん室) 第一三三号

横浜商科大学地産研公報(横浜商科大学地域産業研究所)

第一号

横浜商大論集(横浜商科大学学術研究会) 第三八卷二号

米沢史学(山形県立米沢女子短期大学日本史学科米沢史学

会) 第二一号

洛北史学(洛北史学会) 第七号

立正史学(立正大学史学会) 第九七号

龍谷史壇(龍谷大学史学会) 第一二二・一二三三号

歴史(東北史学会) 第一〇四号

歴史研究(愛知教育大学歴史学会) 第五一号

歴史人類(筑波大学大学院人文社会科学科歴史・人類

学専攻) 第三三三号

歴史と地理(山川出版社) 第五八一—八七号

和菓子(虎屋文庫) 第二二号

図書

青森県史 資料編 近現代四(青森県史編さん近現代部会)

生きている霞堤—豊川の伝統的治水システム—(藤田佳久)

一件書類目録(大元方原所蔵分 一) 三井文庫所蔵史料

(第一一集)(三井文庫)

一切経の歴史的研究(仏教大学総合研究所)

小野市史 第三卷 本編Ⅲ(小野市史編纂専門委員会)

介護保険の施行とその課題—京都府下市町村の動向と介護

問題の現状—(仏教大学総合研究所紀要別冊)

群馬県立行政文書件名目録第一六集(大正期学務編Ⅵ)(群

馬県立文書館)

群馬県立文書館収蔵文書目録二三 多野・藤岡地区諸家文

書(二)(群馬県立文書館)

皇室制度史料 儀制 誕生二(吉川弘文館)

古代多胡碑と東アジア(山川出版社)

後水尾法皇下賜正明寺藏初刷『黄檗版大藏経』目録(仏教

大学総合研究所紀要別冊)

西大寺古絵図の世界(東京大学出版会)

漆器の考古学—出土漆器からみた近世という社会(北野信

彦)

松江公昭家文書目録(一)(神奈川大学歴史民調査報告第二集)

(神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科)

図像文献書誌情報目録(神奈川大学21世紀COEプログラム

ム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推

進会議)

洲本鍛冶屋町山本家文書・小槻並村真野分家保管文書・武

田清市収集文書(二)(淡路文化資料館所蔵史料目録第

二一集)(洲本市立淡路文化史料館)

対話する歴史と民俗―歴史民俗資料学のエチュード―(神

奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科)

多賀城閩連遺跡発掘調査報告書 木戸窯跡群Ⅰ 第三〇号

(宮城県多賀城跡調査研究所)

東海道路交通施設と幕藩制社会(愛知大学総合郷土研究所研

究叢書一八)(渡辺和敏)

東洋史からアジア史へ―変わる世界史、広がるアジア―

(明治大学文学部史学地理学科東洋史研究室)

那須与一とその時代―栃木県立なす風土記の丘資料館展示

図録第一四冊平成一七年企画展―(栃木県立なす風土記

の丘資料館)

日本統治下台湾の支配と展開(台湾史研究部会)

発掘された明石の歴史展―太寺庵寺と高家寺―(明石市立

文化博物館)

仏教と自然(仏教大学総合研究所紀要別冊)

豊後国国東郷一(国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報)

(大分県立歴史博物館)

別子鉾山目論見書―第二部― フランス人鉾山技師ルイ・

ラロック著(住友史料館)

門前・達磨寺文書調査報告書(王寺町文化財調査報告書

第5集)(王寺町教育委員会)

八千代町史 史料編(八千代町史編纂室)

和菓子素材がいのち展―今も昔もスローフード―(虎屋文

庫)